

神海丸だより H 28 年度 多目的航海 第 3 号

2016.6.2

【神海丸の動静】

3日間の沖縄での寄港地研修を終え、5月30日(月)15時00分那覇港を出港しました。那覇入港中はタイミング良く、梅雨の晴れ間に恵まれましたが、連日30度を超す大変蒸し暑い中での沖縄滞在となりました。しかし生徒達は暑さに負けることなく、29日(日)は朝から午後4時までの間、バスによる沖縄南部方面の研修を行ない、沖縄の歴史や独自の文化に触れることができました。また、先の太平洋戦争における沖縄戦についても、平和記念資料館を訪れ、そして、ひめゆりの塔では献花を行うなど、過去の悲慘な戦争についても知識を深める機会となりました。

現在、沖縄から西郷に向け航海中ですが、航海中の日課は、主として午前、午後に専門科目の勉強をするとともに、生徒達は順番で航海当直、機関長直、食事当番を行ないながら、船員として必要な専門知識と技術の習得に励んでいます。

1. 沖縄研修及び沖縄～西郷間の様子



首里城正殿前での記念撮影。沖縄の古い歴史に触れることができました。



戦争慰霊碑の一つ「ひめゆりの塔」を訪れ、沖縄での戦争について学びました。



ひめゆりの塔では献花を行ない、全員で戦没者への慰霊を行ないました。



食事当番は 5:50 起床、毎日5名の生徒が交代で食事の準備、片付けを行ないます。



6:30 船上でのラジオ体操。今航海は天候に恵まれ、毎日ラジオ体操を行っています。



錨作業ではクラッチの嵌脱やブレーキ操作など、難しい揚錨機

2. 島前湾での操舵訓練（錨作業）



6月2日島前湾浦郷沖にて、10:00～15:00の間、操舵訓練及び錨作業の訓練を実施しました。爽やかな天気の中、生徒達は乗組員の指導の下、実務的な操舵訓練と、投錨、揚錨などの錨作業を実際に行い、神海丸の甲板部乗組員が担当する仕事の内容について理解を深めました。